

【ユニット】 臨床入門

【ユニットディレクター】

UD：森 茂久（医学教育センター）

UD 補佐：山田 泰子（医学教育センター） 柴崎 智美（社会医学） 有田 和恵（医学教育センター）
石橋 敬一郎（医学教育センター） 森口 武史（教養教育） 川村 勇樹（教養教育）
荒木 隆一郎（社会医学） 米岡 裕美（教養教育） 杉山 智江（医学教育センター）
大西 京子（医学教育センター） 植村 真喜子（社会医学） 佐藤 義文（医学教育センター）

【一般的な目標】

医学を学び、その成果をすぐれた医療人（臨床医）として実践できるようになるために、医学を学習することへの関心を高めるとともに、医学生として備えておくべき基本的な臨床技能及び態度を修得する。

【具体的な目標】

1. バイタルサインの測定方法を再確認し、より確実により迅速に測定できるように技能を高めて臨床の場で通用するレベルを身につける。
2. 臨床現場で必要とされるコミュニケーション能力を高めるために、コミュニケーションの基本を想起し、医療面接で重要とされる真の共感的態度を中心に学習する。
3. 一次救命処置(BLS)の復習を行い、BLSが必要とされる状況に直面した際のチームダイナミクスを意識した対応を学習する。
4. 臨床現場において、集団に情報や思いを伝えるプレゼンテーションに関する基本的な知識や技法を習得する。
5. 重症心身障害児（者）施設での多職種協働（IPW：Interprofessional Work）の体験を通して、保健・医療・福祉専門職の役割を理解し、連携に必要な視点を説明できる。
6. 悠久園、ナースングヴィラ本郷等で介護業務を体験することによって要介護者に対する基本的な技術と専門職の姿勢を学ぶ。
7. 認知症を持つ高齢者とのコミュニケーションを通して、多様なコミュニケーションについて説明できる。
8. 体験学習（early exposure）の一貫として、医師業務見学実習を通し、早期より病棟、外来での診療の雰囲気を経験し、今後医学を学習する意欲をさらに高める。
9. 体験を通して自分自身を振り返り、ヒューマンケアに携わるものとして、ひとをケアすることの意味を理解する。

【学習方法】

臨床入門2 実習1：(春の部)

6グループに分かれ、6日間でコミュニケーション(医療面接の基礎)、プレゼンテーション技法、光の家療育センターにおけるIPWの体験（多職種協働実習）、バイタルサイン測定（血圧・脈拍の測定など）、一次救命処置(BLS)、介護業務体験実習（ヒューマンケア体験実習）などの各実習を行う。

実習で得られた情報について小グループで討論と実習を行った上で、さらに全体会で発表と討論を行う。

臨床入門2 実習2：(医師業務見学)

1-3名が1組で、大学病院、総合医療センター、国際医療センターのいずれかの病院の診療科で医師業務見学実習を行なう。実習内容には医師による病棟診療、外来診療、検査、病棟回診などの業務見学、BSL中の5年生の実習および研修医の研修の見学、および医療チームの各専門職の存在を知ることが含

まれる。

実習前に見学先の医師が所属している基本学科について調査し、予備知識を持って実習に臨む。

【評価方法】

【本ユニットは実習扱いであり、90%以上の出席が必要である。】

本ユニットは良医になることを目指して、講義や実習に参加し、課題に取り組むことを求めている。そのため、医師を目指す医学生としてふさわしくない態度、行動があった場合には、評価の対象とせず、不合格とする。

11月以降の実習はインフルエンザワクチンを接種していることが、実習参加の条件である。

出席、実習態度、レポートを勘案して100点満点で評価する。ただし、出席90%以上のものを評価対象とし、出席90%に達しないものは評価対象としない。

本ユニットでは全ての課題（提出物）の提出を確認した上で評価対象とする。具体的には、学務課や実習担当者に提出するレポート、健康チェック表、実習成果物等だけでなく、WebClassに登録する日々の振り返り（ログブック）、ルーブリック評価、レポート、ポストアンケートを含むすべての課題である。

また、それぞれの課題毎に決められた提出期限内に未提出の場合には、評価点を減点する。

やむを得ない理由で実習を欠席した場合には、学年末（2月-3月）に補講を行うことがある。

【教科書】

- ◆ 医療面接技法とコミュニケーションのとり方 新基礎臨床技能シリーズ1, 福島 統, メジカルビュー社
- ◆ 身体診察と基本手技 基礎臨床技能シリーズ5, 倉本 秋, メジカルビュー社
- ◆ 診療録の記載とプレゼンテーションのコツ 新基礎臨床技能シリーズ, 酒巻哲夫, 阿部好文, メジカルビュー社

【授業予定表】

ICM : Introduction to Clinical Medicine

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
ICM1	05月27日	(月)	1~3	臨床入門2 実習1 オリエンテーション	UD, UD補佐, その他
ICM2 実習1-1	06月05日	(水)	1~6	・コミュニケーション ・プレゼンテーション技法 ・心身障害者の介護 ・血圧・脈拍の測定 ・一次救命処置 ・介護業務体験	UD, UD補佐, その他
ICM3 実習1-2	06月06日	(木)	1~6	・コミュニケーション ・プレゼンテーション技法 ・心身障害者の介護 ・血圧・脈拍の測定 ・一次救命処置 ・介護業務体験	UD, UD補佐, その他
ICM4 実習1-3	06月07日	(金)	1~6	・コミュニケーション ・プレゼンテーション技法 ・心身障害者の介護 ・血圧・脈拍の測定 ・一次救命処置 ・介護業務体験	UD, UD補佐, その他

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
ICM5 実習1-4	06月11日	(火)	1~6	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション ・プレゼンテーション技法 ・心身障害者の介護 ・血圧・脈拍の測定 ・一次救命処置 ・介護業務体験 	UD, UD補佐, その他
ICM6 実習1-5	06月12日	(水)	1~6	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション ・プレゼンテーション技法 ・心身障害者の介護 ・血圧・脈拍の測定 ・一次救命処置 ・介護業務体験 	UD, UD補佐, その他
ICM7 実習1-6	06月13日	(木)	1~6	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション ・プレゼンテーション技法 ・心身障害者の介護 ・血圧・脈拍の測定 ・一次救命処置 ・介護業務体験 	UD, UD補佐, その他
ICM8	06月14日	(金)	1~3	臨床入門2 実習1 まとめ (スモールグループディスカッション)	UD, UD補佐, その他
ICM9	06月17日	(月)	1~3	臨床入門2 実習1 まとめ(全体発表とディスカッション)	UD, UD補佐, その他
ICM10	11月27日	(水)	1~3	臨床入門2 実習2 オリエンテーション	UD, UD補佐, その他
ICM11 実習2	12月09日	(月)	1~6	臨床入門2 実習2 医師業務見学実習 大学病院, 総合医療センター, 国際医療センターの3病院で実施	UD, UD補佐, その他

「UD, UD 補佐, その他」と記載してある時間は、以下の者が担当している。

森(医学教育C)、山田(医学教育C)、柴崎(社会医学)、有田(医学教育C)、石橋(医学教育C)、森口(教養教育)、川村(教養教育)、荒木(社会医学)、米岡(教養教育)、杉山(医学教育C)、金田(社会医学)、大西(医学教育C)、植村(社会医学)、佐藤(医学教育C)、その他